

平成28年度 市議会事務局の重点課題

市議会事務局長 佐藤 守

<全体方針>

地方自治法の改正や議会改革に伴うさまざまな制度及び運営の見直しに的確に対応しながら、適正かつ円滑な議会運営に努めます。

また、開かれた議会を目指すため、引き続き市民への積極的な議会情報の提供に努めることで議会活動のより一層の公正性、透明性の確保を図っていきます。

平成28年度 各課の重点的取組

最終評価

課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	評価 (進捗結果)	所見
市議会事務局	★円滑な議会運営	●市長部局との緊密な連携		B	議会と市長部局の双方の意向、意見等を踏まえながら、円滑な会議運営ができるよう努めた。
	★議会改革の推進	●予算決算特別委員会の運営等の見直しの検討 ●議案等のペーパーレス化(タブレット端末の導入)の検討		B	・特別委員会実施後に毎回検証を行い、見直しを図りながら実施した。最終的には一定の発言時間の制限を設けた上で、最初から全員参加の形で審査を実施したが、1日の会議時間が大幅に増えたことが今後の課題として残った。

				・今年度内のタブレット端末の導入は見送るが、 改選後に引き続き検討することとなった。
★積極的な議会情報の提供	●議会報告会の開催	○年1回以上開催	B	11月15日にひまわりセンター、郡家コミュニティセンター、飯山市民総合センターの3ヶ所で開催し、市民より様々な意見、要望をお聞きした。 今後もより多くの市民の意見等が得られるよう運営内容等の見直しを図りながら実施していきたい。